

[回覧]

(1)

民児協こもろ 第6号

平成29年11月9日



民児協こもろ

～民生児童委員は市民の皆さんに一番近い相談相手～

編集 小諸市民生児童委員協議会 広報部会



天皇、皇后両陛下ご臨席の式典

大会には、全国23万人の民生児童委員のうち約1万人が参加し、初日の記念式典では、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、厚生労働大臣、東京都知事、全国福祉協議会会长より、民生児童委員への期待と日頃の活動に対する感謝の言葉が述べられました。

民生児童委員活動の課題は、人間関係の希薄化・孤立化、相談内容の多種多様化、個人情報の取り扱い等ですが、それらを克服するためには日々の活動や工夫を研修会で得ることができました。

翌10日は、都内6か所の会場において、テーマ別研修会があり、全国から選ばれた10地区の民生児童委員協議会が、地域に応じた活動や取り組み体制を発表する「小規模発表会」と大学教授・厚生労働省局長等を招いてのシンポジウムが行わされました。

民生委員制度は、今年で100周年の節目を迎え、これを記念して7月9～10日、東京ビックサイトにおいて、「民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会」が開催されました。

柳澤亨さんは、和田区に息子さん夫婦とお住まいです。兄弟が多く、小さい時に養子となり、結婚を機に分家独立をした後に出征し、戦後は鍼と鎌だけの貧しい農家を奥様と二人三脚で頑張ってこられました。

怪我や病気もして、決して丈夫でなかったこともあります。酒や煙草を慎んで、健康には気をつけてきたそうですが、家長としての責任感は強く、地元の役職、お付き合いは誰よりも大切にしていたとのことです。

柳澤亨さんは、和田区に息子さん夫婦とお住まいです。兄弟が多く、小さい時に養子となり、結婚を機に分家独立をした後に出征し、戦後は鍼と鎌だけの貧しい農家を奥様と二人三脚で頑張ってこられました。怪我や病気もして、決して丈夫でなかったこともあります。酒や煙草を慎んで、健康には気をつけてきたそうですが、家長としての責任感は強く、地元の役職、お付き合いは誰よりも大切にしていたとのことです。

柳澤亨さんは、和田区に息子さん夫婦とお住まいです。兄弟が多く、小さい時に養子となり、結婚を機に分家独立をした後に出征し、戦後は鍼と鎌だけの貧しい農家を奥様と二人三脚で頑張ってこられました。怪我や病気もして、決して丈夫でなかったこともあります。酒や煙草を慎んで、健康には気をつけてきたそうですが、家長としての責任感は強く、地元の役職、お付き合いは誰よりも大切にしていたとのことです。

全国民生委員児童委員大会に参加

民生委員制度100周年を迎える

わが町の100歳に元気な秘訣をお聞きしました

柳澤亨さんは、和田区に

残念なことに一年以上付

きつきりで看病した奥様を

76歳の時に亡くされまし

た。自らも病気を負いなが

ら“自分の事は自分でし

他人の世話にならんよう

”という気持ちで、しばら

く前までは旧公民館を目標

に歩いていたそうです。

今は頻繁に訪ねて来てく

れるお孫さんや、生まれたばかりの曾孫さんの声に励

まされながら、一日楽しく

過ごすのが一番と、持ち前

の心の強さで病気に負けな

いよう、家族そろって脳ト

レを頑張っておられます。



笑顔が素敵なお爺さん!
いつまでも元気でいて下さいね。
お誕生日の写真です。

安心して暮らせる 地域づくりのために

兒童福祉部會長

9月11日(月) 小諸市教

9月11日（月）小諸市教
育委員会指導主事の小林由
美子先生をお迎えして、『発
達障害を知ろう』というテ
ーマで全体研修会を開催し
ました。

最近、「いじめ」や「コ
ミュニケーションの苦手
さ」なども、不登校の原因
の一つではないかと言われ
ています。また、「発達障
がい」と「知的障がい」の
違いがわからないという方
もいると思います。



小林由美子先生の講義

委員として理解を深める必要があるではないかということから、今回の研修になりました。私たちが正しい知識を持ち、受け止め方や関わり方を理解することで、発達障がいのある方々を身近で見守ることができるようにになり、発達障がいのある方々の安心に繋がると思います。

研修では、対応方法について事例を交えながら説明いただき、民生児童委員の理解が深まつたことと想います。

にお子さんたちへの見方が変わったことだと思います。民生児童委員には、すぐにつながることはないと思いますが、お子さんたちの気気になる行動を見かけたり相談があつたりした時には、地域の身近な相談相手として話を聞き、専門機関に情報を持たせたりしながら、安心して暮らせる地域づくりに協力したいと思います。

民生・児童委員として

西部地区 池田一子

いて事例を交えながら説明いただき、民生児童委員の理解が深まつたことと想いります。

域に於いて福祉活動に携わってきた日々を振り返りますと、地域住民の思いや生

何かあると連絡があり心強い支えです。

私たち民生委員が、各関係機関に「つなぐ」とすぐ
に相談や対応をしてくださ
り、とても有り難いです。

また民生委員地区定例会

の出席が多く大変ですが、楽しみもあり楽しく参加しています。

れを支えるさまざまな支援や制度に「つなぐ」ことが、その役割と先輩民生委員に教えてもらいました。



全国・長野県民児連会長表彰
で、池田一子さん（中央）と
荒野亜士会長、小林幸子副会長

ここまでやつてこられたのは、この様に多くの皆様の支えがあつてこそと感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。

いろいろな情報や悩みの解決策を他の民生委員さんにアドバイスをいただける事で、大きな力と励みになりました。

A woman in a green blazer and yellow top stands at a table, speaking to a group of elderly people seated around her. A telephone is mounted on the wall behind her.

研修会で司会を務める池田委員